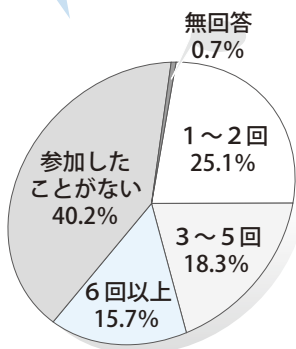


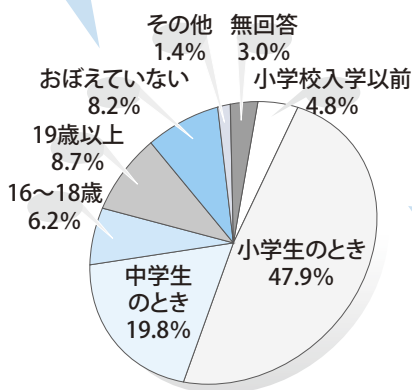


人権文化の花を咲かせよう

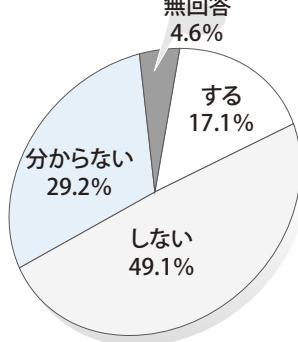
今まで人権・同和教育に関する講演会などに参加したことはありますか？



同和教育を初めて知ったのはいつですか？

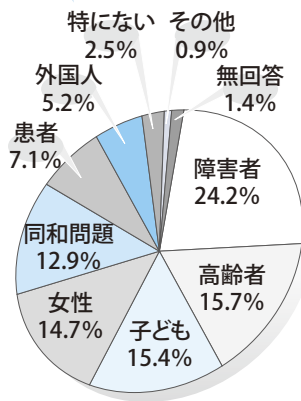


あなたは結婚にかかわる身元調査をしますか？

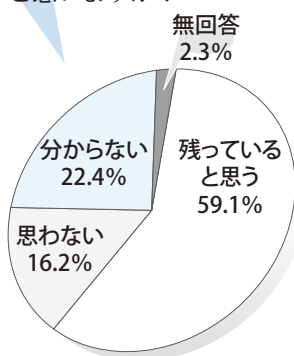


人権問題に関する 市民意識調査結果 (一部抜粋)

人権問題で、関心のあるものは？(3つ回答可)



部落差別は今も残っていると思いますか？



平成16年7月実施
市内20歳以上
1000人を無作為に抽出
回収率43.8%

旧西条市で実施した市民意識調査(左グラフ参照)においても、部落差別が残っていると感じている人が半数を超え、結婚に関わる身元調査をしないと答えられた人は、約半数います。

しかし、現代社会には同和教育をはじめ、高齢者、女性、子ども、障害者、外国人、特定の病気などに関する人権問題が依然として存在しています。

市では、一日も早く差別がなくなるよう「人権文化の花が咲くまち」をめざして、これからも積極的に取り組んでいきます。

にどまりました。
すべての人の願い「人権尊重」が実現することで、しあわせで住みよい社会ができあがります。
そのためには市民の皆さん一人ひとりに、さまざまな人権問題研修会や講習会に参加していただいて、正しい認識を身に付け、お互いの人権をしっかりと尊重しあうことが求められます。

意識調査の自由意見を紹介します。

- 同和教育は、小・中学生に対しては、繰り返してはいけない差別であるということだけでなく、自分たちはなぜ学んでいるのか、とても身近な問題であることを理解してもらうのは大切だと思う。
- 小・中学校の授業で同和教育を知った。そのときの教育のおかげで差別に対して嫌悪感を持つようになり、必要な教育だと思う。
- 「人権尊重都市宣言」「条例」を制定するだけでなく、どのように活かすかが重要である。



小松中3年
小笠原 萌 さん



丹原東中3年
戸田成美 さん



東予東中3年
黒河 陽 さん



西条南中1年
秋山祥子 さん

人権ポスターの紹介